

17
まいん

どうざんみね
銅山峰

別子銅山三百余年の
大パノラマを展望



銅山峰より新居浜市を望む

どうざんみね
銅山峰は、嶺南側(旧別子)と嶺北側(新居浜)を分ける峠で、海拔1,300メートルあります。

ここは古来から船窪と呼ばれています。その由来は、嶺北から銅山峰を見ると、横から見た船底に見えるからです。

銅山峰からは、新居浜市内を一望でき、瀬戸内海に浮かぶ島々(四阪島も見えます)や、遠くはしまなみ海道まで望むことができます。

ツガザクラはツツジ科の高山植物です。高さ10センチメートルほどの常緑低木です。開花の時期は5月下旬～6月上旬頃です。リンドウに似た釣り鐘で1センチメートル足らずの花をつけます。別子銅山のツガザクラは日本の南限となり、大切に保護されています。

愛らしく咲いた白く小さな花が銅山の優しい風に揺れる姿は登山者の心を和ませてくれます。



別子銅山のツガザクラ



紅葉の頃の峰地藏
登山者を見守っている

みねじぞう 峰地藏は、雪で行き倒れた人を慰霊するために建立されました。

地藏さんの縁日は旧暦8月24日で、明治の頃には道筋には幡がはためき、横の舟窪には土俵があって子供相撲に歓声が湧いていました。

いくつかからか道行く人々は、無事安全を祈るようになりました。

